



岡山県立邑久高等学校 科学同好会・有志

岡山県瀬戸内市邑久町尾張404

貝肥料を与えてハツカダイコン栽培中



上；畑の土に植えた場合

下；貝肥料を混ぜた場合

Action

段ボールと米ぬかを使ったスクミリングガイ(ジャンボタニシ)の捕獲を、田植え後4週間、週3回、水田をお借りして実施したところ、昨年に比べ、稲苗の食害がある程度軽減できた。しかし、用水の取り入れ口等では、かなり食害がみられ、捕獲のタイミング、取り入れ口からの貝の侵入防止等、課題も見えてきた。あわせて、捕獲した貝の有効利用法についても検討し、肥料にできないか取り組んでみた。その結果、数か月発酵・乾燥したスクミリングガイをペースト状にして(貝肥料と呼ぶ)、ある割合、畑の土に混ぜ、ハツカダイコンの種子をまいたところ、貝肥料を混ぜ込まなかった場合に比べて数倍大きく成長することがわかり、スクミリングガイを肥料化することが可能なことを示唆された。